

わんにゃん通信

2016. 9月号



徐々に暑さも和らいで、特に朝夕は涼しくなってきました。
ぼちぼち衣替えもしなきゃと思いつつ・・・
季節の変わり目なので体調を崩さないようにしないと！
さて、今回は犬や猫の尿路結石症のお話です。



尿路結石症 とは？

膀胱や尿道に砂や石のような物質（結石）がたまってしまう病気です。
結石によって膀胱が傷つき痛みがでたり、おしっこが出にくくなったり
します。

特に尿道に詰まり、おしっこが全くでなくなると命に関わってきます。

症状

- 頻繁におしっこに行く
- いつもより長くトイレにいて少しずつしかおしっこがでない
- トイレ以外のところでもおしっこをしてしまう
- おしっこが濁っている
- おしっこに血が混じる
- おしっこをするとき痛そうに鳴く



**オシッコと一緒に砂状の結晶や結石
が出て、猫砂やシートの表面がキラキ
ラ光って見えることもあります**

原因（犬）



水の飲水量が減ったり、排尿の我慢によるおしっこの濃縮。
リン酸・マグネシウム・カルシウムなどのミネラルの過剰摂取。
ホルモンや代謝の乱れなどが関連していると言われています。また、尿路結石が
できやすい犬種もあるため、遺伝的な要因もあるようです
メスの場合、尿道が短いので外から入ってくる細菌の影響を受けやすく細菌感染
による膀胱炎による結石がみられます。

原因（猫）



結石を作りやすい体質の猫が、水や食事から得られる水分が不足することが原因で起こることが多いとされています

結石の種類

結石には成分によって色々な種類がありますが、犬、猫共に80%以上はこの二つの結石が占めています



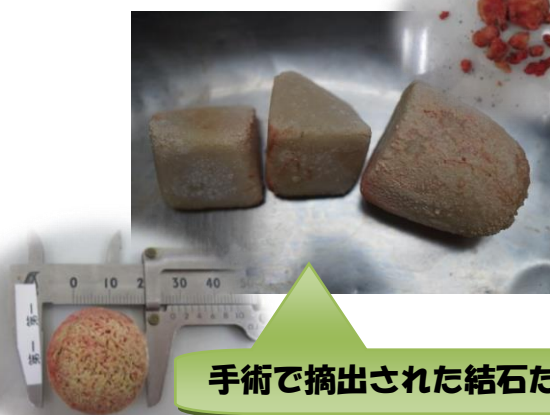
治療・予防

- ◎治療食により尿のpH を調節し、結石を溶かす。
- ◎膀胱炎など細菌感染がある場合は抗生剤を投与する。
- ◎結石が溶けた後は再発を防ぐ維持食に切り替える。
- ◎尿が濃くならないように新鮮な水をいつでも飲めるように、トイレは気持ちよくできるように常に清潔にしておきましょう。

他の食べ物をあげず、決められた食餌、水だけをあげましょう！



また、大きな結石や療法食による治療に改善が見られない場合は外科手術で取り除くことがあります。



場合によっては命に関わる病気です

普段からおしっこの色やにおい、回数、出方などに注意し、おかしいと思ったら早めに病院へ連れて行きましょう